

DL231

24 Input, 24 Output Active Microphone Splitter with
2 Independent Midas Microphone Preamplifiers per Input

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

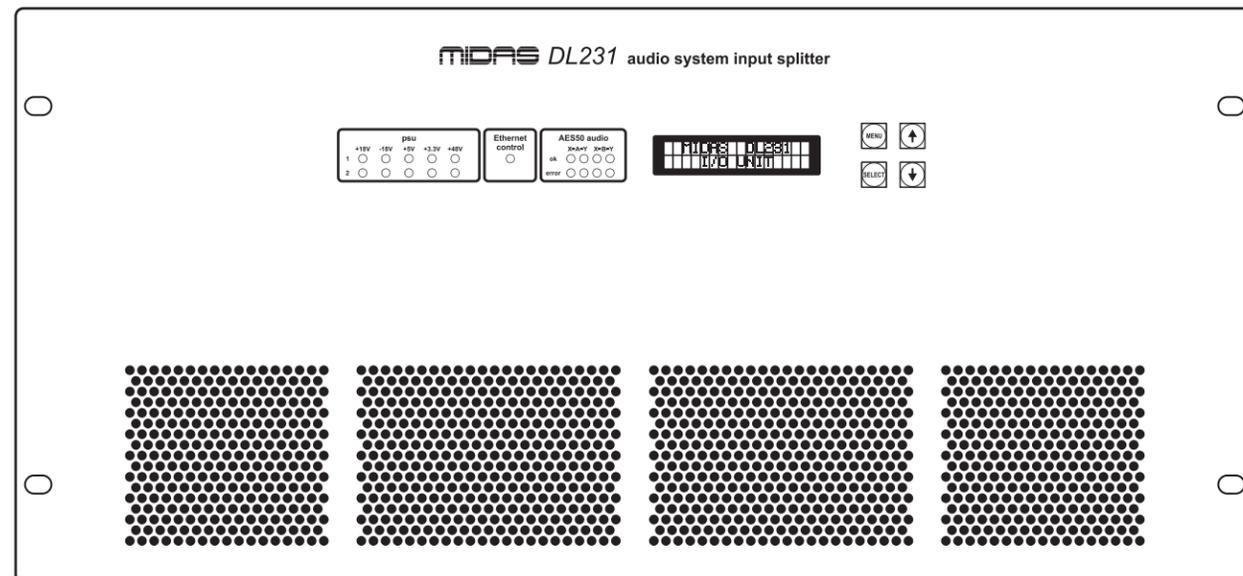
法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

1. 前書き



The DL231 - front panel

ようこそ!

DL231 オーディオシステム I/O ユニットをお買い上げいただきありがとうございます。

Midas DL231 オーディオシステム I/O ユニットは、頑丈な 19 インチ 2U ラックマウントシャーシに収納されており、路上フライトケースでの使用と保管に適しています。

すべてのユーザーインターフェイスコントロールとフィードバックはフロントパネルにあります。ユーザーインターフェイスコントロールは、必要なユーザーフィードバックの量を考慮して、操作を簡単にするために配置されています。すべてのスイッチは、一体型の青色 LED 照明と印刷されたスイッチキャップを備えた高品質のモメンタリタイプです。

すべてのプライマリコネクタは、ユニットの背面にあります。すべての入力と出力はバランス XLR コネクタにあります。すべてのアナログオーディオ入力および出力は、48V 接続に耐性があり、短絡保護されています。DL231 は Neutrik XLR 接続を使用します。

DL231 I/O ユニットは、アナログ回路とデジタル回路を組み合わせた混合技術製品です。これらの回路タイプは、多層水平 PCB を使用して入力カードと出力カードで組み合わせられます。PCB レイアウトを計画および実行する際には、適切な接地とアナログ/デジタル分離を維持するために細心の注意が払われています。

DL231 ユニットは、現在の Midas シリーズの DL251 I/O ユニットの実績のあるテクノロジーを使用しています。アナログ入力カードと出力カードは同一であり、CPU カードは DL251 で使用されているものの修正バージョンです。

ユーザーインターフェイスソフトウェアは、既存の Midas I/O ユニットで現在使用されているものと同じメニューシステムに基づいており、これらのユニットが実行できるすべての機能を備えています。

DL231 ユニットは、2.5 dB の超高精度ゲインステップを備えた 48 チャンネルの Midas プレミアムマイクプリアンプを搭載し、すべての Midas デジタルコンソール (特に XL8、PRO3/6/9、PRO X コンソール) の理想的なパートナーであり、ミキシング可能性を大幅に向上させます。マイク入力。

Midas 製品範囲内での統合

既存の Midas コンソールのカラーリングに合わせてスタイル設定された Midas の高性能 I/O は、かつてないほど簡単に費用効果が高くなっています。

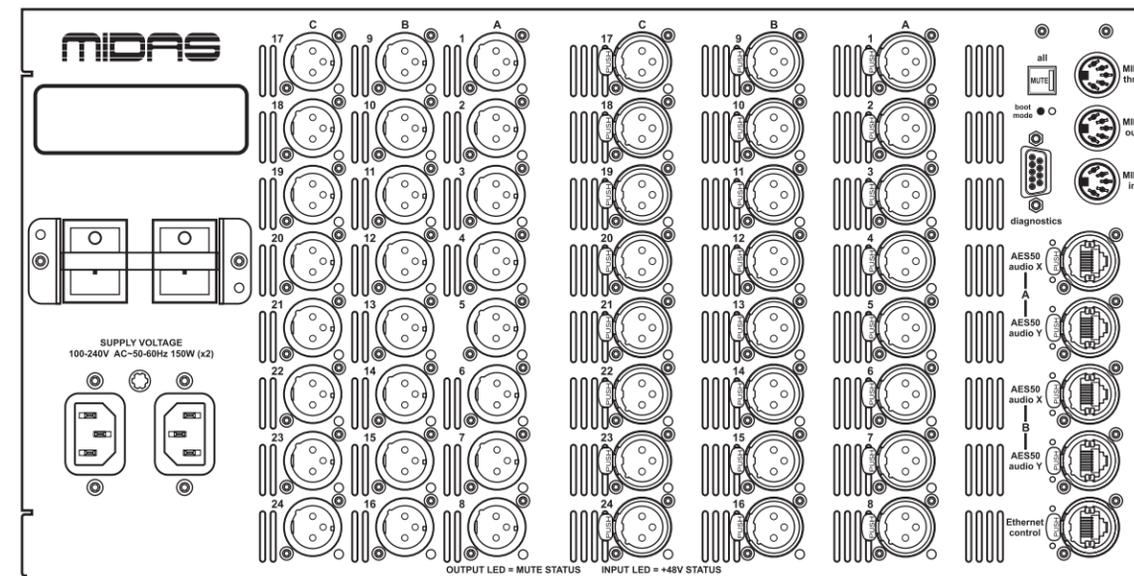
特徴

- チャンネルごとに 2 つの受賞歴のある Midas マイクプリアンプ、切り替え可能な +48V ファンタム電源
- 独立したフェーズロックループ同期を備えた 2 つのデュアル冗長 AES50 ネットワークポート
- 24 個の電子的にバランスの取れた出力チャンネルは、マイクプリアンプまたは AES50 ポートから供給できます。
- CAT5/5e ケーブルを介した最大 100m のリモート操作
- 96 kHz のサンプルレートで 24 ビットオーディオ操作
- フロントパネルのコントロールまたはコンソールからプログラム可能なすべての設定
- フロントパネルの PSU ステータスインジケータ LED と構成 LCD ディスプレイ
- Neutrik EtherCON * AES50 ネットワークポートを備えています
- ポータブルアプリケーションでの耐久性のための頑丈な 5U ラックマウントシャーシ
- デュアル冗長オートレンジユニバーサルスイッチモード電源
- 3 年間の保証プログラム**
- イギリスで設計および設計された

*すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。それらの使用は、商標の主張でも、商標所有者の MusicRibe への所属でもありません。製品名は、互換性、効果、および/またはコンポーネントの参照としてのみ言及されています。
**保証の詳細は musicRibe.com で確認できます。

このマニュアルについて

DL231 入出力ユニットの取扱説明書です。このマニュアルは、開梱、設置、接続、セットアップ、および操作の手順を説明することにより、ユニットをできるだけ早く設置して操作できるようにすることを目的としています。DL231 に慣れるために、フロントパネルとリアパネルの説明と、わかりやすいユーザー指示があります。



The DL231 - rear panel

2. 入門

このセクションでは、DL231 I/O ユニットを開梱、設置、接続、電源投入、および構成する方法について説明します。



この機器は、感電の原因となる可能性のある主電源電圧によって供給されます。

この装置を設置、セットアップ、または操作する前に、このセクションのすべてと、このマニュアルの冒頭にある「重要な安全上の注意」を読み、完全に理解していることを確認してください。ユニットの上部カバーにある追加の安全情報を参照してください。

開梱

DL231 I/O ユニットを慎重に開梱します。次に、DL231 I/O ユニットを注意深く検査して、輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないかどうかを確認し、損傷が見つかった場合は直ちに宅配業者に通知します。

DL231 I/O ユニット機器パッケージの内容を確認してください。不足している、正しくない、または欠陥のある部品がある場合は、このマニュアルの冒頭にあるアドレスの最寄りの販売代理店または Midas に連絡してください。

機器を製造元またはサプライヤに返却する必要がある場合、または後でユニットを輸送または出荷する必要がある場合に備えて、元の梱包を保持してください。

インストール

この装置を設置して操作する前に、各主電源リード線を介して主電源電圧供給ソケット出口の保護接地導体に正しく接続されていることを確認してください。

理想的には、配電設備やその他の潜在的な干渉源から離れた、涼しい場所が望ましいです。

換気の悪い場所に機器を設置しないでください。

過度の熱、ほこり、または機械的振動にさらされる場所にこの装置を設置しないでください。機器の周囲に十分な換気を行い、ファンと通気口が塞がれていないことを確認してください。可能な限り、機器を直射日光にさらさないでください。

ラックにのみ取り付けてください。

力

内部電源装置は、入力主電源電圧を自動的に検出するスイッチモードタイプであり、公称電圧が 100 VAC ~ 240 VAC の範囲にある場合に機能します。

ユニットが出荷されたエリアで接続するための正しいリード線は、ユニットに付属しています。機器は、付属のリード線を使用して主電源コンセントにのみ接続する必要があります。

付属のメインケーブルに取り付けられているプラグが、ユニットのメイン IEC コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してください。プラグを取り付けたり取り外したりするときは、プラグ自体を常に持ち、ケーブルを使用しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。濡れた手でコンセントを抜き差ししないでください。

機器の取り扱い

機器を持ち上げたり移動したりするときは、常にそのサイズと重量を考慮してください。

機器を電氣的に完全に隔離し、すべてのケーブルを機器から外してから移動してください。

通気口など、機器の隙間や開口部に指や手を挿入しないでください。

電界

FCC 規則および規制のパート 15 に従い、「...コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。」

この製品を可聴周波数信号 (20 Hz ~ 20 kHz) で振幅変調された電磁界で使用すると、信号対雑音比が低下する可能性があります。極端な条件下 (3V/m、90% 変調) では、変調信号に対応する周波数で最大 60 dB の劣化が発生する可能性があります。

接続する

DL2311/0ユニットは、次のリード線とコネクタを使用します。

一次アナログ入力:

マイク/ライン入力-バランス XLR コネクタ-10K 負荷

一次アナログ出力:

メイン出力-バランス XLR コネクタ-50R ソース

AES50 接続:

ステータス表示付きの Neutrik EtherCON

イーサネット制御接続:

ステータス表示付きの Neutrik EtherCON

診断接続:

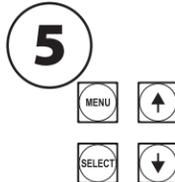
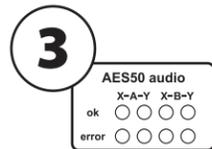
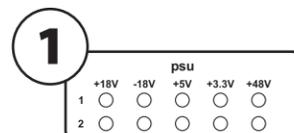
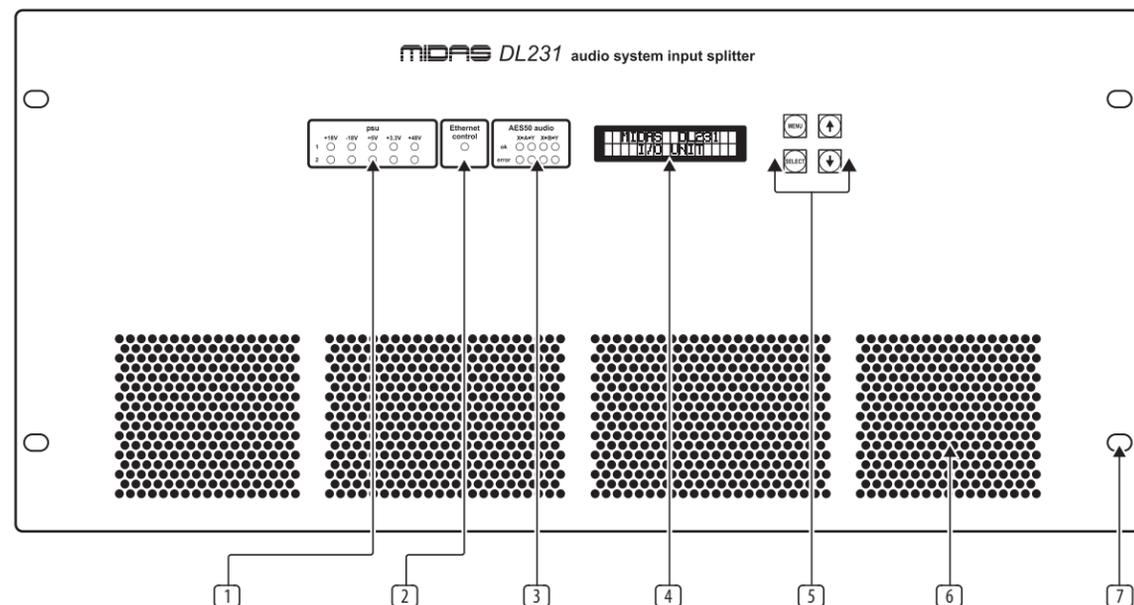
9W メス「D」タイプコネクタ

電源接続:

IEC メインインレット-100-240V AC ~ 50-60 Hz

DL2311/0ユニットと組み合わせて使用されるコネクタの詳細については、セクション5.コネクタを参照してください。

3. フロントパネル



① **psu** パネルは、2つの電源を監視します。電圧源ごとに5つの黄色のLEDがあり、各LEDは電圧レベルを表します。LEDは、それぞれの電圧レベルがアクティブになると点灯します。

② イーサネットコントロールパネルには単一の緑色のLEDがあり、3つの照明状態があります。点滅=アクティブ。on=接続済み; オフ=接続されていません。

③ AES50 オーディオパネルには、AES50 接続の通信の正常性ステータスが表示されます。緑色のOK LEDが点灯している場合、通信は良好です。ただし、赤いエラーLEDが点灯している場合は、その接続に問題があります。

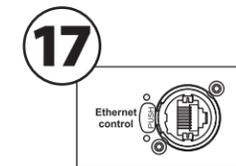
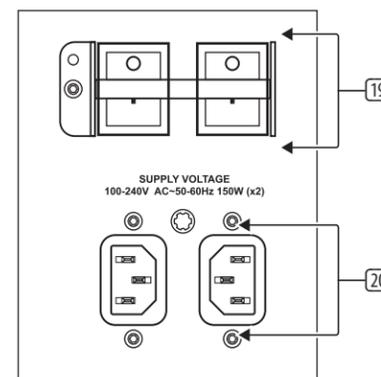
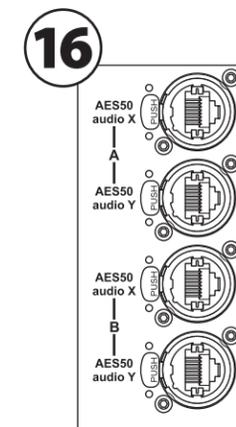
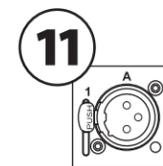
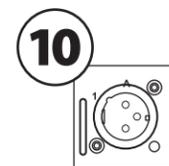
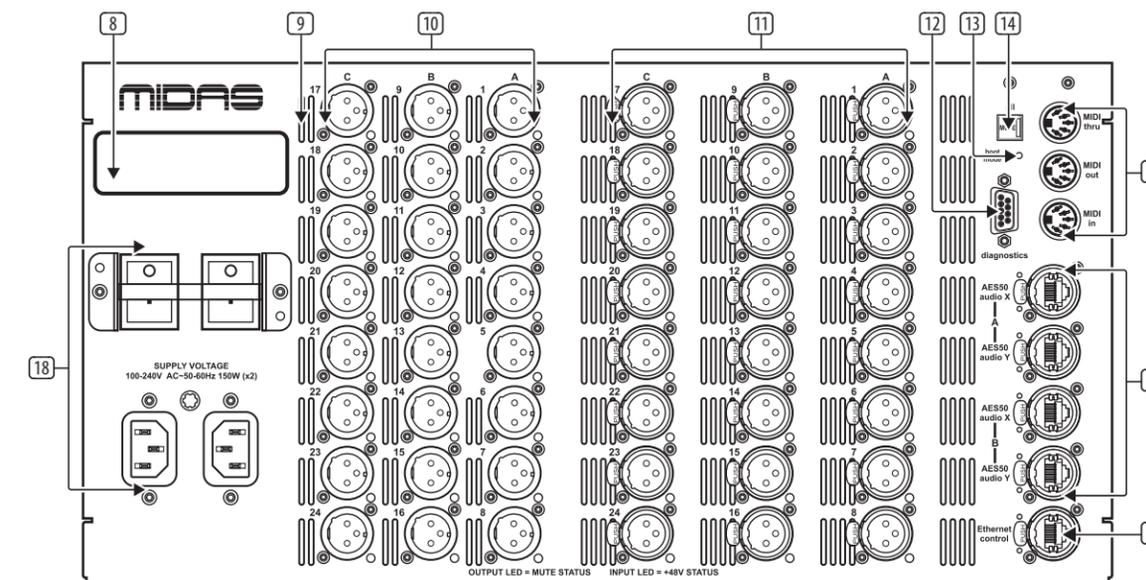
④ **LCD ディスプレイ**-2x16文字の青いバックライト付き液晶ディスプレイ。

⑤ **構成制御**-メニュー項目を構成するための「メニュー」、「選択」、「上」、「下」ボタン。

⑥ ファン冷却用の4つの吸気口があります。邪魔しないでください。

⑦ ラック取り付け固定用の4つの切り欠きがあります。

4. 後面パネル



⑧ ユニットのシリアル番号ラベル。

⑨ ユニット内部のファン冷却用の空気取り入れ口を提供する換気グリル。

⑩ ライン機器の出力を提供するオス XLR シャーシコネクタ。各ソケットには、その出力のミュートがオンになると点灯する赤いLEDがあります。

⑪ マイク/ライン機器への入力を提供するメスの XLR シャーシコネクタ。各ソケットには、その入力に対して +48V ファンタム電源がオンになると点灯する赤いLEDがあります。

⑫ 診断コネクタは、診断目的でサービス担当者がラップトップ/ PCを接続するための9方向Dタイプコネクタです。これはオペレーター機能ではなく、サービス担当者のみが使用します。

⑬ ブートモードスイッチは、通常の操作とサービス担当者だけの構成ブートモードのどちらかを選択します。隣接する赤色のLEDがあり、ユニットがサービス専用構成モードになっていることを示すために点灯します。

⑭ MUTE ボタンを1秒以上押し続けると、すべての出力が同時にミュートされます。ミュートがアクティブになると点灯するLEDが内蔵されています。

⑮ シンセサイザーなどのMIDIデバイスを接続するための3つのMIDI(楽器デジタルインターフェース)ソケット(MIDI入力、MIDI出力、MIDIスルー)があります。MIDI入力ソケットはMIDIデータを受信し、MIDIスルーソケットはMIDI入力ソケットで受信したのと同じMIDIデータを出力します。MIDI出力ソケットは、接続されたMidasデジタルコンソールによって生成されたMIDIデータを出力します。

16 4つの AES50 オーディオ EtherCON ソケットは、コンソールへの接続を提供し、オーディオと制御データを両方向に渡します。各ソケットには、赤と緑の LED のペアがあり、次のことを示します。

- 緑の脈動と赤の消灯 = 有効な音声と有効な制御データ。アクティブなリンク。
- 緑は常に点灯し、赤は消灯 = 有効な音声と有効な制御データ。スタンバイリンク。
- 緑が消え、赤が点灯 = 音声なし。リンクに失敗しました。

17 背面パネルのイーサネット制御 EtherCON ソケットにより、最大 100m の長さの Cat5e ケーブルを介したイーサネット制御が可能になります。このソケットには、次のことを示す緑色の LED があります。

- 緑色の LED が点灯 = 接続されているがアクティブではない
- 緑色の LED が点滅 = アクティブ
- 緑色の LED が消灯 = 障害または接続なし

主電源

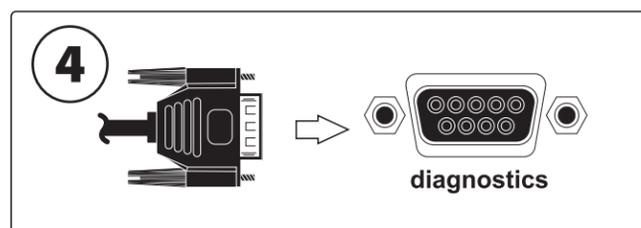
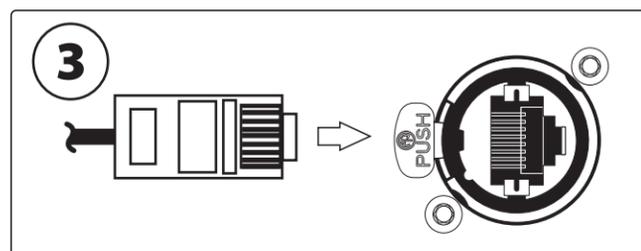
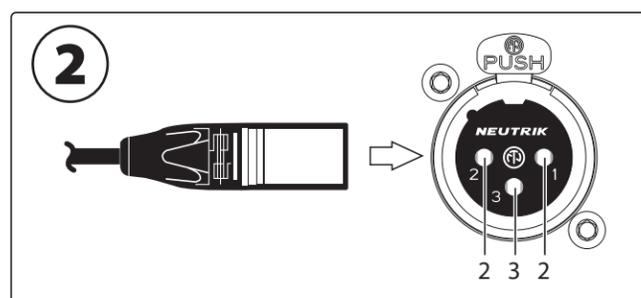
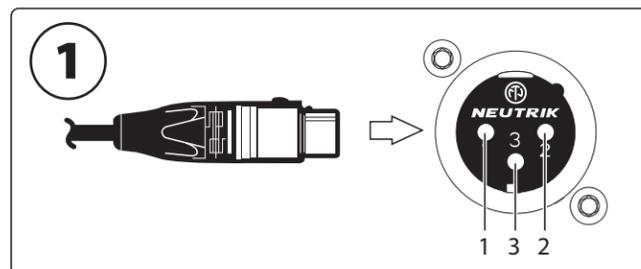
各メインインレットは、壁に取り付けられた独自のメインアウトレットソケットから供給される必要があります。それ以外の場合は、地域の安全規制を満たすために、両方の主電源を適切に分散させる必要があります。

メインは、デュアル冗長メインインレットを介して DL231 に供給されます。

- 18 デュアル冗長電源。
- 19 メインのオン/オフアイソレータスイッチ。
- 20 メイン IEC ソケット。

5. コネクタ

機器の正確で信頼性の高い動作を保証するには、高品質のバランスの取れた、遮蔽されたツイストペアオーディオケーブルのみを使用する必要があります。XLR コネクタシェルは、コンソール/スネークに接続したときにスクリーンを提供するように金属構造である必要があります。必要に応じて、ケーブルスクリーンにピン 1 を接続する必要があります。



- 1 **ライン出力オーディオコネクタ。** 次のピン配列のメス XLR プラグとオス XLR シャーシコネクタ: 1 = アース; 2 = 暑い; および 3 = 寒い。
- 2 **マイク/ライン入力オーディオコネクタ。** 次のピン配列のオス XLR プラグとメス XLR シャーシコネクタ: 1 = アース; 2 = 暑い; および 3 = 寒い。
- 3 **イーサネットソケット。** RJ45 プラグと EtherCON ソケット。
- 4 **診断。** 9 ウェイ、D タイプのプラグとソケット。

6. 操作

プログラミングモード

この章では、DL231 I/O ユニットのプログラミングモードについて説明します。

メニューナビゲーション

コントロールパネルの 4 つのプログラミングボタンには、次の機能があります。

ナビゲーションボタン	使用法
	現在のメニューレベルに応じて、メニューレベルを上下に移動するか、プログラミングモードを終了します。
	現在のオプションを選択します。
	メニュー/オプションの現在のレベルをスクロールします。
	上矢印ボタンとは反対の方向に、メニュー/オプションの現在のレベルをスクロールします。

17 ~ 21 ページのメニューフローチャートは、すべてのメニューとそのオプションの概要を示し、それらをナビゲートする方法を示しています。この図では、メニューは左側に示され、後続の各下位レベルは右側にあります。

プログラミングモードを開始/終了するには

プログラミングモードに入るには、MENU ボタンを押して約 2 秒間押し続けます。デフォルトの表示は、トップレベルの「メニューの選択:」表示に変わります (このページの「メニュー」を参照)。

メニュー表示画面からプログラミングモードを終了するには、デフォルト画面に到達するまで MENU を繰り返し押します。その時間内にプログラミングボタンが押されなかった場合、ユニットは約 20 秒間非アクティブになると、自動的にプログラミングモードを終了します。

メニューを選択するには

プログラミングモードで、上下の矢印ボタンを使用して目的のメニューまでスクロールし、SELECT を押します。

メニュー

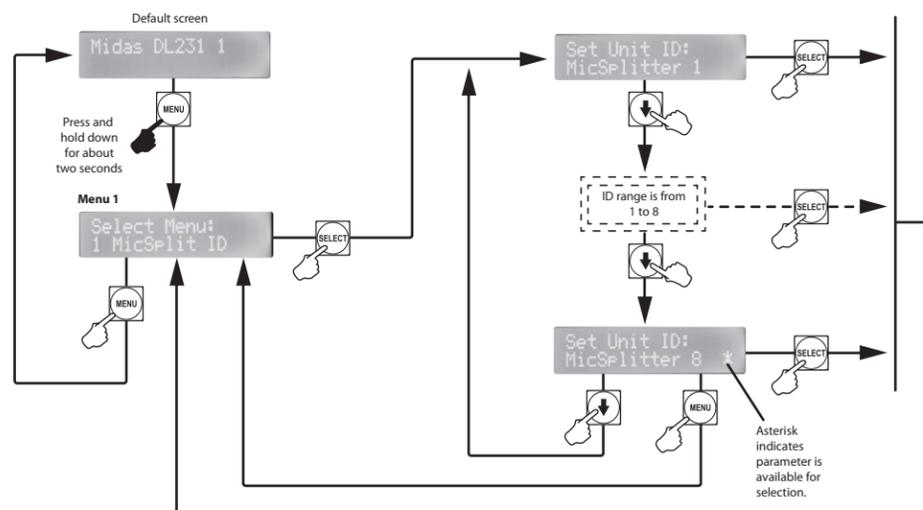
プログラミングモードの 8 つのメニューは次のとおりです。

- 1 **MicSplit ID** – ユニットのネットワーク ID を設定します (以下の「MicSplit ID メニュー」を参照)。
- 2 **AES50 同期** – AES50 を同期する方法を選択するため (以下の「AES50 同期メニュー」を参照)。
- 3 **出力ソース** – ユニットのアナログまたは AES50 デジタル入力からの出力信号ルーティングを設定します。
- 4 **48V 制御** – 48V ファンタム電源の電源を制御するため。
- 5 **サンプルレート** – ユニットのサンプルレート (48k または 96k サンプルレート) 設定できます。
- 6 **AES50 ステータス** – AES50 値を表示/クリアできます。
- 7 **S/W バージョン** – ユニットのソフトウェアバージョン番号を表示するため。
- 8 **すべてリセット** – すべての設定をデフォルトにリセットできます。

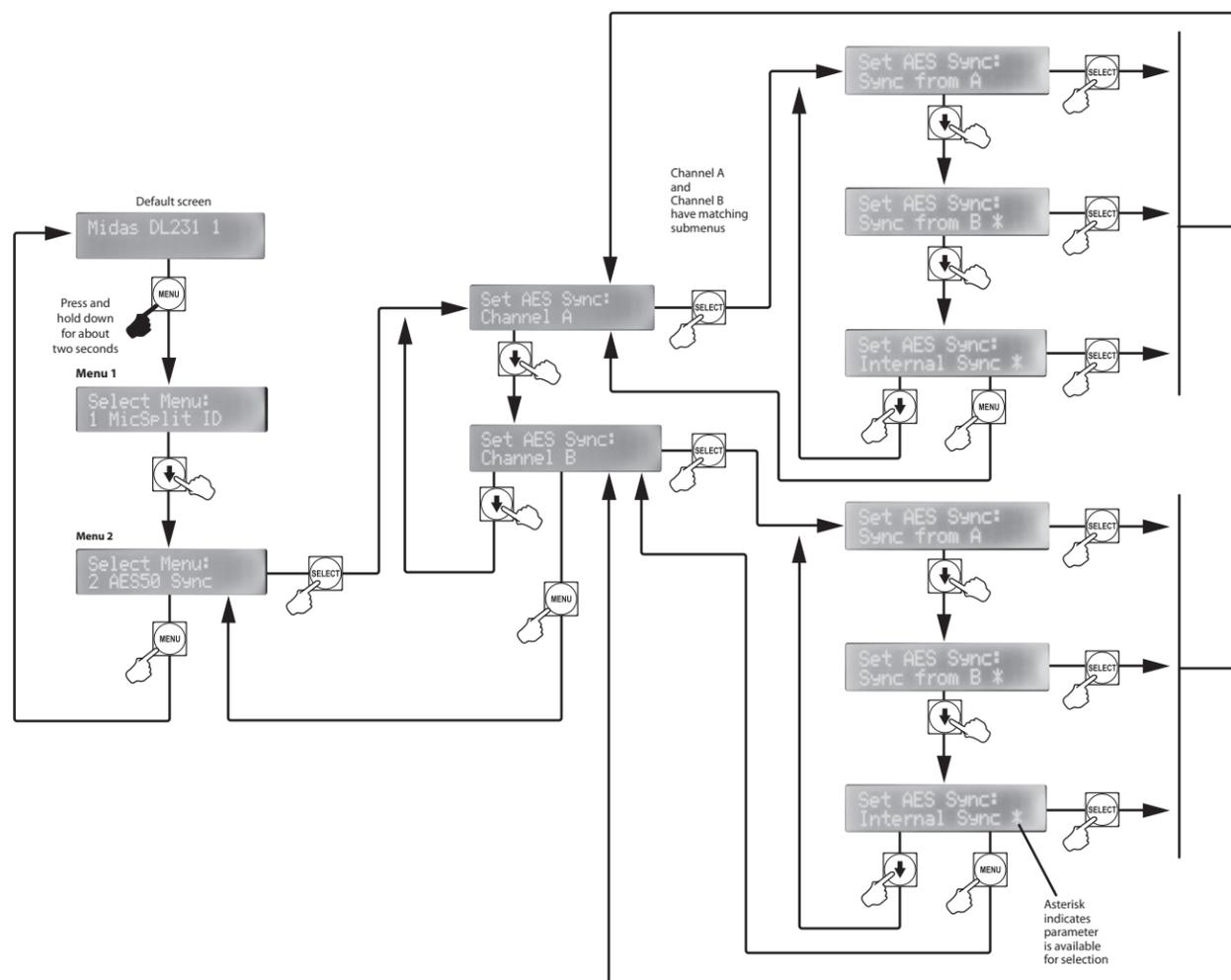
プログラミングモードでは、コントロールパネルの 4 つのプログラミングボタンを使用して、多数のメニューからオプションをナビゲートおよび選択します。これにより、ユニットをセットアップして情報を表示できます。

メニューフローチャート

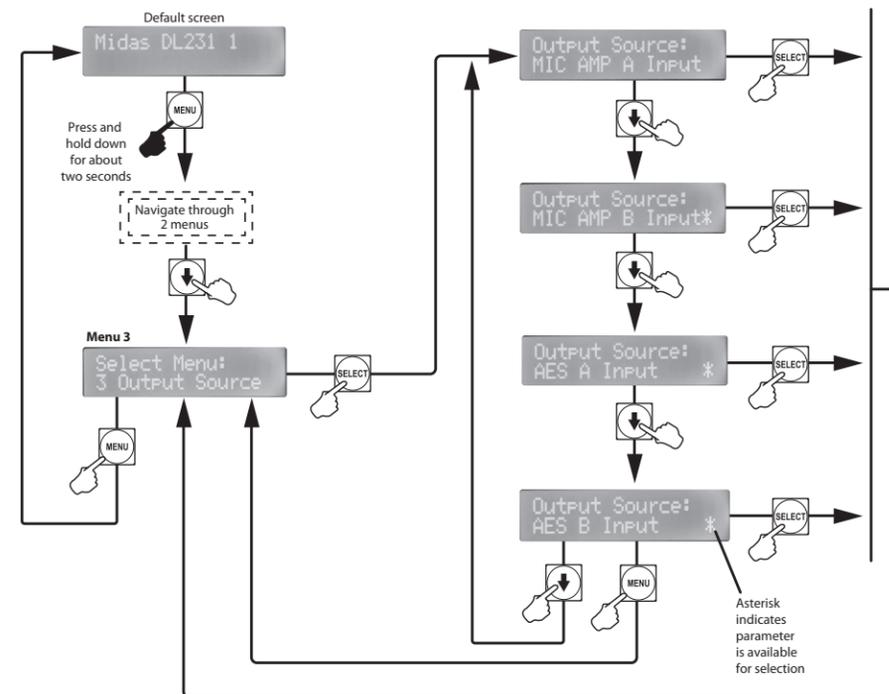
メニュー 1: MicSplit ID



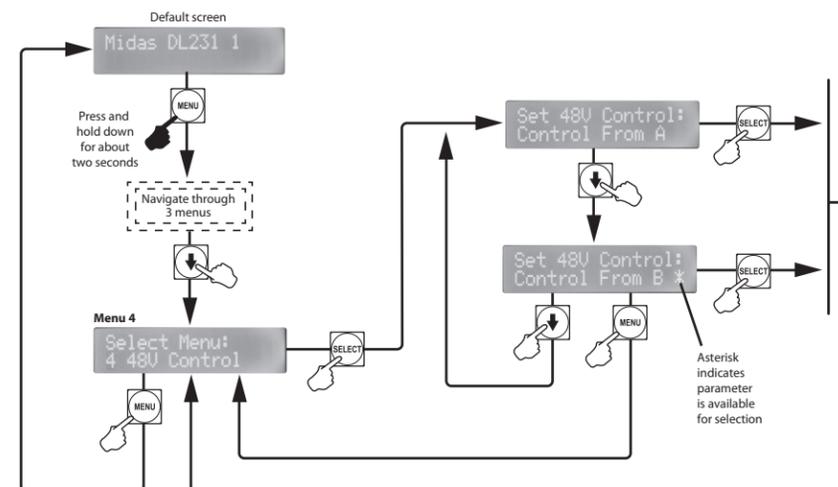
メニュー 2: AES50 Sync



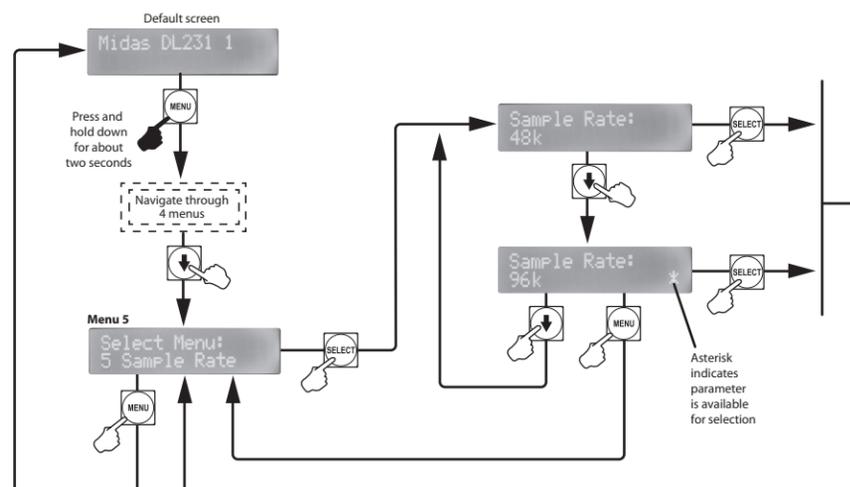
メニュー 3: Output Source



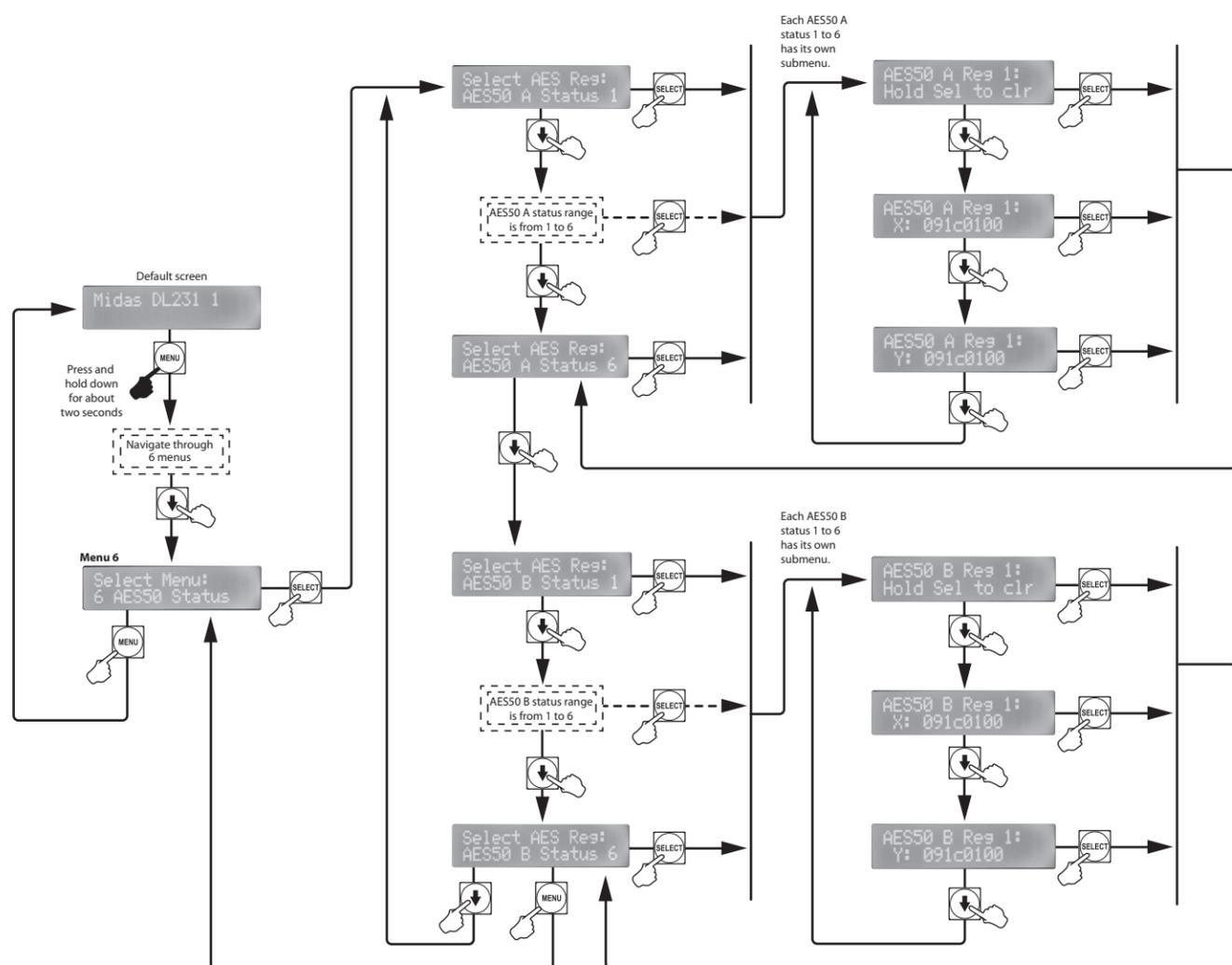
メニュー 4: 48V Control



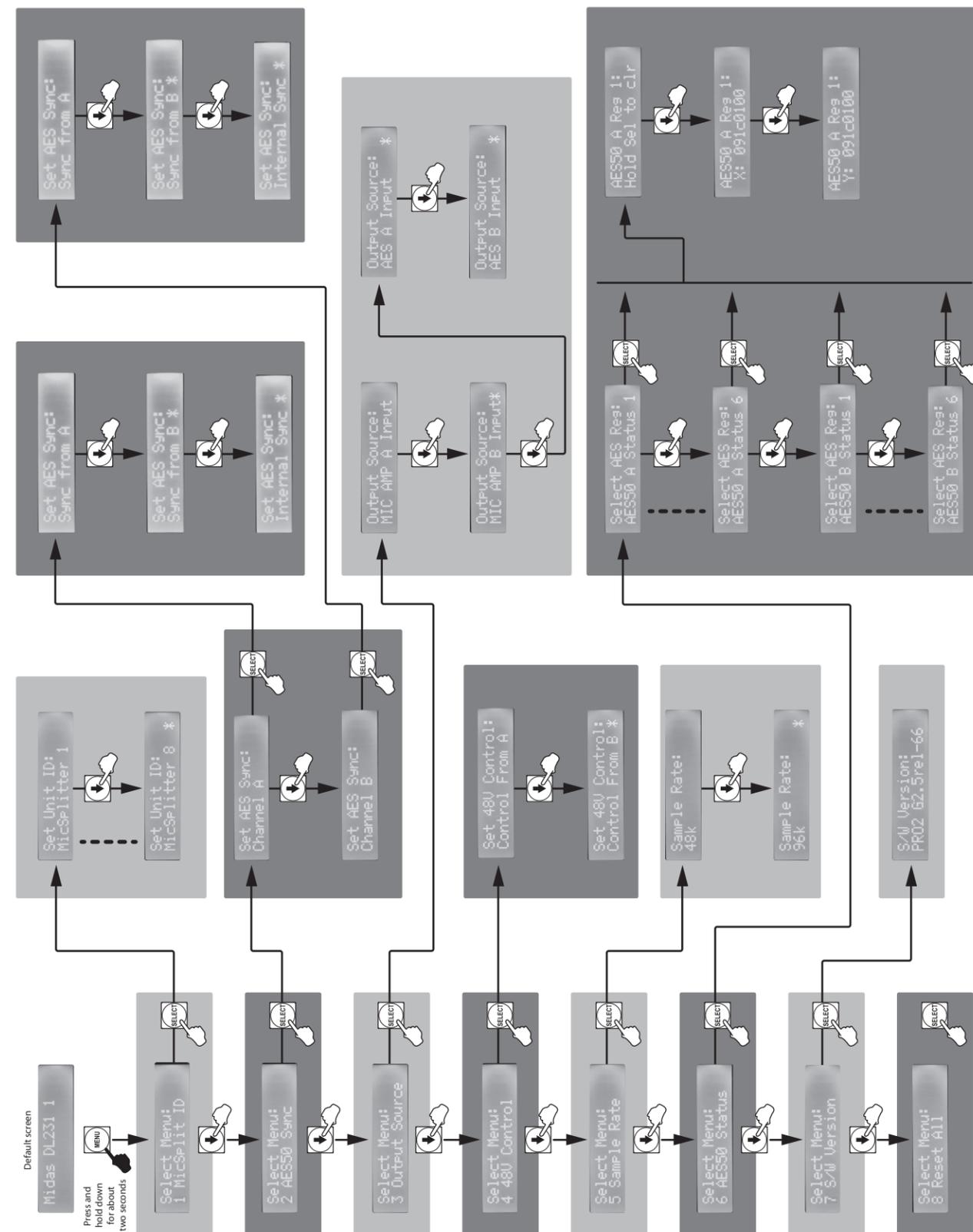
メニュー 5: Sample Rate



メニュー 6: AES50 Status



メニューチャート (概要)



7. 技術仕様

このセクションには、DL231 I/Oユニットの技術仕様が含まれています。

継続的な改善の方針により、Midasは予告なしにいつでも機能または仕様を変更する権利を留保します。

一般的な統計

XLR 接続	
DL231	
1x5U ラック I/O ボックスハウスの:	24 x (XLR) マイク/ライン入力 (48 マイク/ラインアンプ) 24 x (XLR) ライン出力
レジリエンス	
デュアル冗長ネットワークケーブルとデュアル冗長 PSU	

一般仕様

サンプリング周波数	48 kHz / 96 kHz
ダイナミックレンジ @ 1 kHz	22 Hz~22 kHz (ユニティゲインの場合): > 107 dB
最大ゲイン	45 dB
クロストーク @ 1 kHz	-90 dB の物理的に隣接する入力チャンネル
クロストーク @ 10 kHz	-90 dB の物理的に隣接する入力チャンネル
寸法	5U x 410 mm の深さ
正味重量	15 kg
積み込み重量	18 kg
電力要件	100 V~240 V AC±10%, 50~60 Hz
消費電力	<150 W
動作温度範囲	+5°C ~ +40°C
保管温度範囲	-20°C から +60°C

オーディオパフォーマンス仕様

周波数応答				
入力	出力	利得	20 Hz	20 kHz
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	+0 dB~-1 dB	+0 dB~-1 dB
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	+0 dB~-1 dB	+0 dB~-1 dB
1kHz でのゲインエラー				
入力	出力	利得	最大	最小
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	+1 dB	-1 dB
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	+1 dB	-1 dB
入力 CMRR 標準				
入力	出力	利得	100 Hz	1 kHz
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	70 dB	70 dB
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	90 dB	90 dB
0dBu での歪み				
入力	出力	利得	1 kHz	10 kHz
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	0.01%	0.01%
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	0.03%	0.03%

+20dBu での歪み				
入力	出力	利得	1 kHz	10 kHz
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	0.01%	0.01%
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	0.03%	0.03%
信号経路ノイズ 22Hz ~ 22 kHz 重み付けなし (入力 150Ω 終端)				
入力	出力	利得	出力ノイズ	EIN
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	-86 dBu	-86 dBu
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	-81 dBu	-126 dBu
ダイナミックレンジ 22Hz ~ 22kHz 重み付けなし				
入力	出力	利得	最大レベル	ダイナミックレンジ
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	0 dB	+21 dBu	107 dB
DL231 I/O ボックス	DL231 I/O ボックス	45 dB	+21 dBu	102 dB

システムの入力と出力

I/O ボックス入力	
コネクタ	3 ピン XLR バランス
A/D コンバーター	24 ビット、96 kHz、128 倍のオーバーサンプリング
I/O ボックス出力	
コネクタ	3 ピン XLR バランス
D/A コンバーター	24 ビット、96 kHz、128 倍のオーバーサンプリング
ミディ	
MIDI コネクタ	5 ピン DIN でのイン、アウト、スルー (Midas コンソールでのみ使用)
48 kHz I/O デジタルシステムの入力と出力	
システムコネクタ A (X)	EtherCON XLR の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
冗長コネクタ A (Y)	冗長バックアップを提供する EtherCON XLR 上の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
システムコネクタ B (X)	EtherCON XLR の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
冗長コネクタ B (Y)	冗長バックアップを提供する EtherCON XLR 上の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
96 kHz I/O デジタルシステムの入力と出力	
システムコネクタ A (X)	EtherCON XLR の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
冗長コネクタ A (Y)	冗長バックアップを提供する EtherCON XLR 上の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
システムコネクタ B (X)	EtherCON XLR の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
冗長コネクタ B (Y)	冗長バックアップを提供する EtherCON XLR 上の 1 x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)

入出力特性

アナログ入力特性				
入力	Z をロード	利得	最大レベル	コネクタ
DL231 I/O ボックス	10 kΩ	-2.5 dB ~ +45 dB	+24 dBu	XLR
アナログ出力特性				
出力	ソース Z	利得	最大レベル	コネクタ
DL231 I/O ボックス	50 Ω	0 dB	+21 dBu	XLR

48kHz デジタル I/O 特性	
タイプ	AES50
チャンネル	24
データ長	24 ビット
I/O	双方向
説明メモ	AES50-2011 に準拠
コネクタ	EtherCON XLR
96kHz デジタル I/O 特性	
タイプ	AES50
チャンネル	24
データ長	24 ビット
I/O	双方向
説明メモ	AES50-2011 に準拠
コネクタ	EtherCON XLR

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

